

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 高山市立 三枝小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒506-0043
岐阜県高山市中切町715番地
E-mail mieda@edu.city.takayama.gifu.jp
Website _____

幼児児童生徒数 男子 68名 女子 61名 合計 129名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「自ら取り組み やりぬく子」を学校理念として、ESDを郷土愛の育成と捉え、ESDの実践を通して将来にわたり、子どもたちが「三枝の郷」の地域の伝統に誇りをもち、環境を守ろうとする心情を高めることに繋がっている。これは、地域に誇りと愛着をもち「三枝の郷とともに生きる」児童の育成につながりESDの活動として継続していきたいと考えている。

体的に本校では、①「さえぐさ活動」、②「ホタルの飼育」に係わる学習を行った。大きな二つの取り組みを伝統行事とし、学校と地域が一丸となって行っている。以下、この二つの取り組みについて説明する。

1、さえぐさ活動(土と汗のにおいがするかぶら市)

春から夏にかけては、ジャガイモの栽培、夏から秋にかけては、かぶらと大根の栽培を、6年生を中心とする縦割り班(さえぐさ班)で行う。11月には「かぶら市」を開き、自分たちの育てた自慢のかぶらと大根を、全校児童が地域の方に販売する。「かぶら市」は、昭和50年に始まり、現在も地域の協力を得ながら活動を継続している。地域の方と触れ合える貴重な体験でもあるため、三枝小学校の伝統的な一大イベントとして、全校一丸となって取り組んだ。

② ホタルの飼育活動（4年生・全校）

本校での活動は昭和61年に始まり、32年目を迎える。毎年4年生が中心になり、地域の「ホタル保存会」の方に指導を受けて観察や飼育をしている。地域の方やPTAの方に協力していただきながら自然との共生や命の尊さを学んでいる。春と秋の2回、グラウンドの端に設置されたビオトープにホタルの幼虫を放流する。秋の放流は全校で行う。6月には、「ほたるのタベ」という会を開催し、地域の方も招待して、美しい光を放つホタルを鑑賞していただいた。



① の写真（かぶら・大根の収穫）



①の写真（かぶら市）

②の写真（ホタル飼育）



②の写真ホタル飼育発表会

(2) 活動の詳細

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

① さえぐさ活動 (土と汗のにおいがするかぶら市)

1～6年生の各学年が入った班で、栽培活動に取り組む。春から夏にかけてはジャガイモの栽培、秋から初冬にかけては「大根とかぶ」の栽培に取り組んだ。

6年生がリーダーとなって、栽培の計画を立てる。畝づくり・種まき・間引き・水やり・草取り等の作業を指導する。下級生は、6年生に教えてもらいながら、栽培活動に取り組んだ。



<かぶら市>

収穫した「大根やかぶ」は、「かぶら市」を開き、保護者や地域の方に販売をする。「かぶら市」の準備は、1ヶ月前から行う。看板や店も子どもたちがアイデアを出し合って作りあげる。当日は、運動場にブルーシートを敷き、その上に「かぶや大根」を並べ、訪れた方々に子どもが販売した。

② ほたるが飛ぶ学校

4年生が4月の始め、ホタル保存会の方からホタルの生態や飼育の方法を学び、ホタルの世話を始める。餌となるカワニナとり、ホタル小屋の掃除、幼虫の観察など、毎日当番を決め取り組む。



4月中旬には、大きく育った幼虫を校庭にあるホタル夢ランドに放流する。

ホタルの成虫が舞い始める6月終わり、「ホタルの夕べ・鑑賞会」を開く。4年生がホタルの飼育の様子

を発表した後、児童、保護者、地域の方がホタル夢ランドや学校周辺で舞うホタルを鑑賞する。その後も4年生は、ホタルの飛翔数を調べたり、次年度に向けて卵から羽化した幼虫を育てたりする。

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ① ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

①さえぐさ活動
1・2年は、生活科の学習として、3・4・5・6年は、総合的な学習の一環として全校体制で取り組んでいる。

②ホタルの飛ぶ学校
4年生が主に活動している。総合的な時間を使って探究活動を行っている。

- ② 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

総合的な学習の時間に位置付けている。
6年生を中心とした縦割り活動の継続とさえぐさ委員会の活動として取り組んでいる。

- ③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

・児童・保護者・教職員のアンケートに項目を位置づけている。

長い伝統があり、保護者にも地域にも好評。
学年関係なく仲が良い。非常に働くことに対して意欲的。

- ④ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

- ①かぶら市 地域への販売活動
②ホテルの夕べ 地域への発表会とホテルの鑑賞会

三枝の伝統として広く理解してもらえた

- ⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)

(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

- ①地域からの寄付野菜の販売 値付けを地域の人にしていただく
②三枝ホテル保存会

- ⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）
※チェック事項2-4に対応

①②テレビや新聞で紹介されている

- ⑦ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

①②
本年度と同じように行う